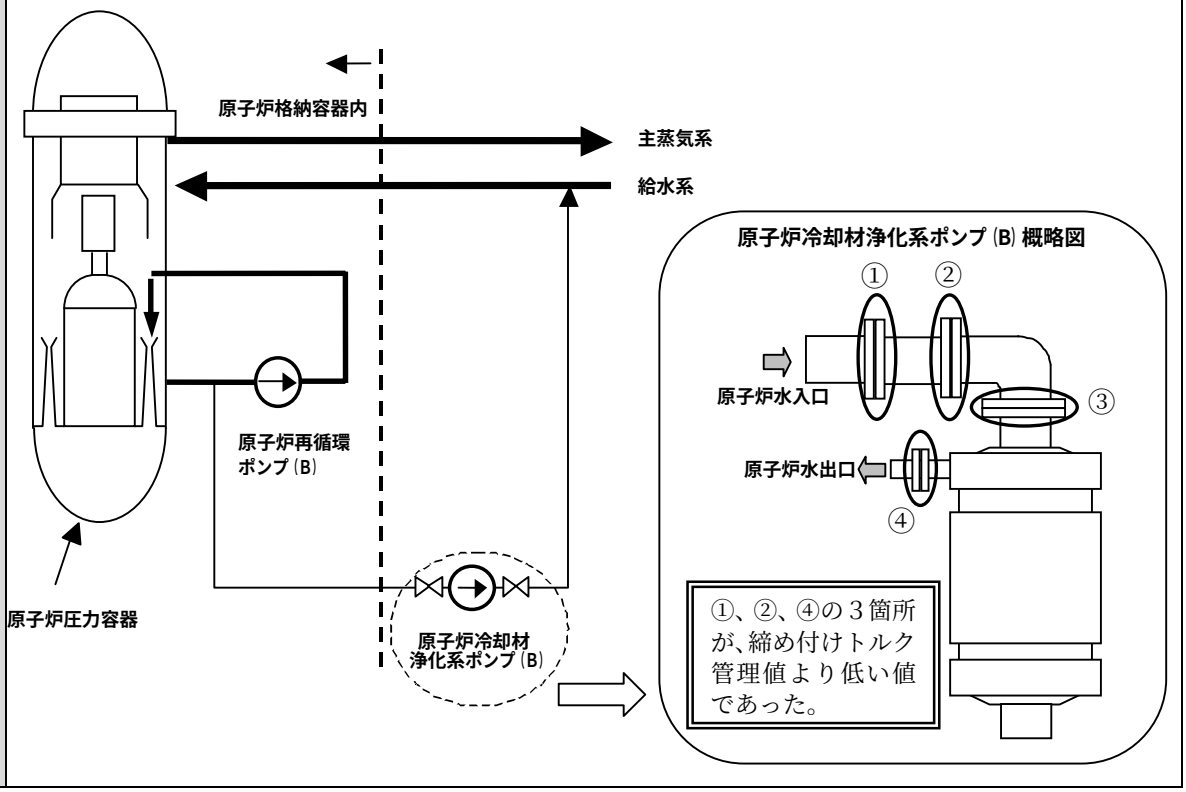
女川原子力発電所　定期検査・主要機器点検情報

Ｎｏ．３　　（平成１６年１０月分）

号　　機	１号機	定 期 検 査	第１６回定期検査
件　　名	原子炉冷却材浄化系ポンプ（Ｂ）入口フランジ部漏えいについて		
月　　日	平成16年10月16日（土）	発　生 / 発　見 / 確　認	

場　　所	原子炉建屋	設　　備	原子炉冷却材浄化系ポンプ	設備区分	それ以外の系統
設備概要	原子炉冷却材浄化系は、原子炉冷却材中に含まれる不純物を除去し、冷却材の純度を高く保つための装置です。				
所　　見	・定格熱出力一定運転中のところ、７月２３日、原子炉冷却材浄化系ポンプ(B)室のダスト放射線モニタの指示値が通常値より若干高めであることが認められました。その後当該ポンプを停止し、その系統を隔離したままプラントの運転を継続し、原因の詳細調査・復旧作業は第１６回定期検査に入ってから実施することとしておりました。　（7月２３日、7月２７日お知らせ済み） ・フランジ部の目視点検を行ったところ、４箇所のフランジで、わずかに漏えいした痕らしきものが認められました。この内３箇所については締付けトルク管理値より低い値であることが確認されました。このため、当該４箇所のフランジは締付けトルク管理値の上限近傍の値で締付けるよう管理することとしました。